

平成23年度事務事業評価表（平成22年度振り返り）の意見募集のまとめ

平成23年度事務事業評価表（平成22年度振り返り）について、市民の皆さんに全事務事業評価表をお示しし、ご意見等を募集しました。

実施期間：平成23年7月15日～平成23年8月5日

提出意見：1件

1. 事務事業見直しのための仕分け結果の反映について

意見概要	年代	住所
<p>現在、当市の財政状況は年々厳しい状況にあり行財政改革の推進は待ったなしである。それ故、事務事業評価による市の事業の改善は必須である。</p> <p>市が実施した事業仕分けでは、市民の視点で事務事業見直しの方向性などを検証する初めてのケースで非常に注目されたと思います。結果的にはこの事業仕分けは傍聴した議会議員、一般市民から非常に高い評価を受けましたので、仕分け結果を市行政が次年度の行政評価にどのように反映されるか見守ってきました。</p> <p>しかし、今回の評価表には全く反映されていないことに唖然としました。当市では「市民の視点に立った成果重視の行政運営を実現すると共に、市民に対する説明責任を果たすため、平成14年度より行政評価制度に取り組んでいます」との事ですが現状の困難な市政を見るにつけ、これまでの行政評価制度がどれだけの成果を達成出来たのか疑問を感じています。</p>	70代	幸町

2. 新たな行政評価制度の提言について

意見概要	年代	住所
<p>市の行政内部のみによる評価では、評価制度が機能していないのではないかと危惧しています。行政評価の実効性を上げるためには、外部評価を導入した新たな仕組みが必要と強く思いました。そこで、市民自治の時代にふさわしい外部評価制度を取り入れた行政評価のあり方を提言したいと思います。</p> <p>新たな行政評価制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政評価の流れ 1. 当市の事務事業を第4次長期総合計画（長期戦略ビジョン）の施策の下に体系化 2. 内部評価（市内部による点検評価） <ul style="list-style-type: none"> * 3つの視点（目的妥当性、有効性、効率性）で評価を行う。 現状の厳しい財政状況から効率性を重視する。 * 明確なコスト削減目標設定。 * 事業費2千万円以上の事務事業には全庁評価会議が評価結果に対するコメントをする。 3. 外部評価 <ul style="list-style-type: none"> 公開市民参加（学識経験者を含む）による外部評価 * 市民が事務事業を選定する。 * 公募と無作為抽出で選ばれた市民が評価を行う。 * 市民が選定した事務事業について市民を担当部局が議論を交わし、それを踏まえて市民が評価判定を行う。 	70代	幸町